



7回	教育計画に必要な知識⑤〔発表・討議〕－【同上】『院内教育プログラムの立案・実施・評価』：第3章・第4章（野本百合子・北川恵）
8回	教育計画に必要な知識⑥〔講義〕－文献講読のまとめ（野本百合子）
9回	選定した教育内容の授業計画立案①〔発表・討議〕－【立案上の課題解決・個人ワーク】（野本百合子・徳永なみじ・北川恵）
10回	選定した教育内容の授業計画立案②〔発表・討議〕－【立案上の課題解決・個人ワーク】（野本百合子・徳永なみじ・北川恵）
11回	選定した教育内容の授業計画立案③〔発表・討議〕－【中間発表会】進捗状況報告（野本百合子・徳永なみじ・北川恵）
12回	選定した教育内容の授業計画立案④〔発表・討議〕－【立案上の課題解決・個人ワーク】（野本百合子・徳永なみじ・北川恵）
13回	選定した教育内容の授業計画立案⑤〔発表・討議〕－【立案上の課題解決・個人ワーク】（野本百合子・徳永なみじ・北川恵）
14回	選定した教育内容の授業計画立案⑥〔発表・討議〕－【成果発表会】立案した授業計画の発表（野本百合子・徳永なみじ・北川恵）
15回	専門職の特徴と使命を果たすための教育の展開〔講義・討議〕－根拠に基づいた専門職教育（野本百合子・徳永なみじ・北川恵）
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

課題レポート（60%）、プレゼンテーション（40%）の合計により、評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舟島なをみ編：看護学教育における授業展開－質の高い講義・演習・実習の実現に向けて</li> <li>・舟島なをみ編：院内教育プログラムの立案・実施・評価 第2版、医学書院</li> </ul>
参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杉森みどり・舟島なをみ：看護教育学 第7版、医学書院</li> <li>・Gertrude Torres他著、近藤潤子他訳：看護教育カリキュラム－その作成過程、医学書院</li> <li>・梶田 叡一：教育評価 第2版補訂2版、有斐閣双書</li> <li>・西岡 加名恵、石井 英真、田中 耕治：新しい教育評価入門〔増補版〕：人を育てる評価のために、有斐閣コンパクト</li> <li>・Donald A. Schon著、佐藤学他訳：専門家の知恵－反省的実践家は行為しながら考える、ゆみる出版</li> </ul>

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

文献講読については、受講生間で相談して担当部分を決定の上、担当箇所の内容をまとめて事前レポートを提出し、授業時にプレゼンテーション・質疑応答を実施する。そのため、事前に指定文献の担当箇所を精読してレポートを作成、提出するための時間を要する。また、担当箇所の内容を理解するために、必要に応じて追加して文献を確認し、精読する必要がある。

授業計画の立案は、学生自身の過去の実践や新たな取り組みなどについて、全体像を描きつつ、自己の担当授業の展開を考える。自身の教育経験がない場合は、学習経験を前提として、より効果的な仮定の授業計画等を作成する。

関連科目

前科目	M103 生涯教育学特論	M206 看護教育学特論Ⅱ	M208 看護教育学・技術学				
後科目	M227 特別研究Ⅰ	M228 特別研究Ⅱ					

実務家教員

看護師（医療機関）	野本 百合子	徳永 なみじ	北川 恵				

備考	※基盤看護分野を専攻とする学生には、必修科目。 関連科目「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」は、主に基盤看護分野を専攻する学生を対象とする。 ※当該科目は「教育に関する科目」に該当するため「看護教育学特論Ⅰ」と合わせて履修することにより、 看護専門学校の教員資格を取得可能					